

計画で推進する6つの方針①

つくば市では、6つの方針を掲げた計画を策定しました。
気候市民会議つくば2023からの提言も反映しています。

方針1 (P.22~) まち・建物の脱炭素化

家庭や事業所、公共施設における
省エネ化や電化等を推進します。



市民・事業者をお願いしたいこと

- 家庭や事業所のZEH・ZEB化や断熱改修、高効率設備への更新、電化への転換を検討しましょう。
- 脱炭素先行地域づくり事業の取組や市の排出状況を確認し、脱炭素への関心を深めましょう。

主な目標値

新築における国の省エネ基準以上の住宅数

284戸 → **487戸**
(2024年度) (2030年度)

方針2 (P.26~) 脱炭素モビリティの普及促進

脱炭素自動車、自転車や公共交通の利用
拡大を目指します。



市民・事業者をお願いしたいこと

- 脱炭素自動車への買い換えを検討やエコドライブを実践し、移動由来の排出量の削減に取り組みましょう。
- 買い物や通勤などの日常的な移動に公共交通や自転車の利用を検討しましょう。

主な目標値

市域の次世代自動車導入率
(EV、FCV、PHV (HVを除く))

1.3% → **8.5%**
(2024年度) (2030年度)

計画で推進する6つの方針②

方針3 (P.30~) 脱炭素型ライフスタイルへの転換

地球温暖化対策への理解を深め、脱炭素型ライフスタイルへの転換を目指します。



市民・事業者をお願いしたいこと

- 環境関連のセミナーやイベント等に参加し、最新の環境情報を日々の暮らしや事業に役立てましょう。
- 資源の再利用やごみの正しい分別等に取り組み、できる限りごみを出さないように心掛けましょう。

主な目標値

地球温暖化対策に関する環境学習等の参加者

456人 → **550人**
(2024年度) (2030年度)

方針4 (P.33~) 再生可能エネルギーの導入促進と活用

再生可能エネルギーの導入促進・拡大と市内での利用を目指します。



市民・事業者をお願いしたいこと

- 太陽光発電設備の導入や再エネ由来電力メニューの選択を検討しましょう。
- HEMSやBEMSを活用して、家庭や事業所のエネルギー使用状況を「見える化」しましょう。

主な目標値

太陽光発電の導入量
(太陽光10kW未満・10kW以上)

322 MW → **506 MW**
(2024年度) (2030年度)

計画で推進する6つの方針③

方針5 (P.38~) 気候変動への適応

気候変動に適応しているまちの実現を目指します。



市民・事業者をお願いしたいこと

- ・ 災害への備えとしてハザードマップの日頃からの確認や太陽光発電設・蓄電池等の導入を検討しましょう。
- ・ 熱中症の予防としてクールビズの実施やクールシエルターの活用などを心掛けましょう。

主な目標値

災害への事前の備えとして3日以上
の食料・飲料水の備蓄をしている市民
の割合

50.5% → 53.0%

(2025年度)

(2030年度)

方針6 (P.41~) 各主体の連携による環境と経済の好循環

環境負荷の低減と経済の活性化が両立する社会の実現を目指します。



市民・事業者をお願いしたいこと

- ・ 気候市民会議提言ロードマップを確認し、自分事として日常生活や事業活動において取り組みましょう。
- ・ 他事業者等との連携による技術革新等に取り組み、地域経済の発展と脱炭素化の両立に貢献しましょう。

主な目標値

GDP当たりのCO₂排出量

1.2t-CO₂/億円 → 0.6t-CO₂/億円

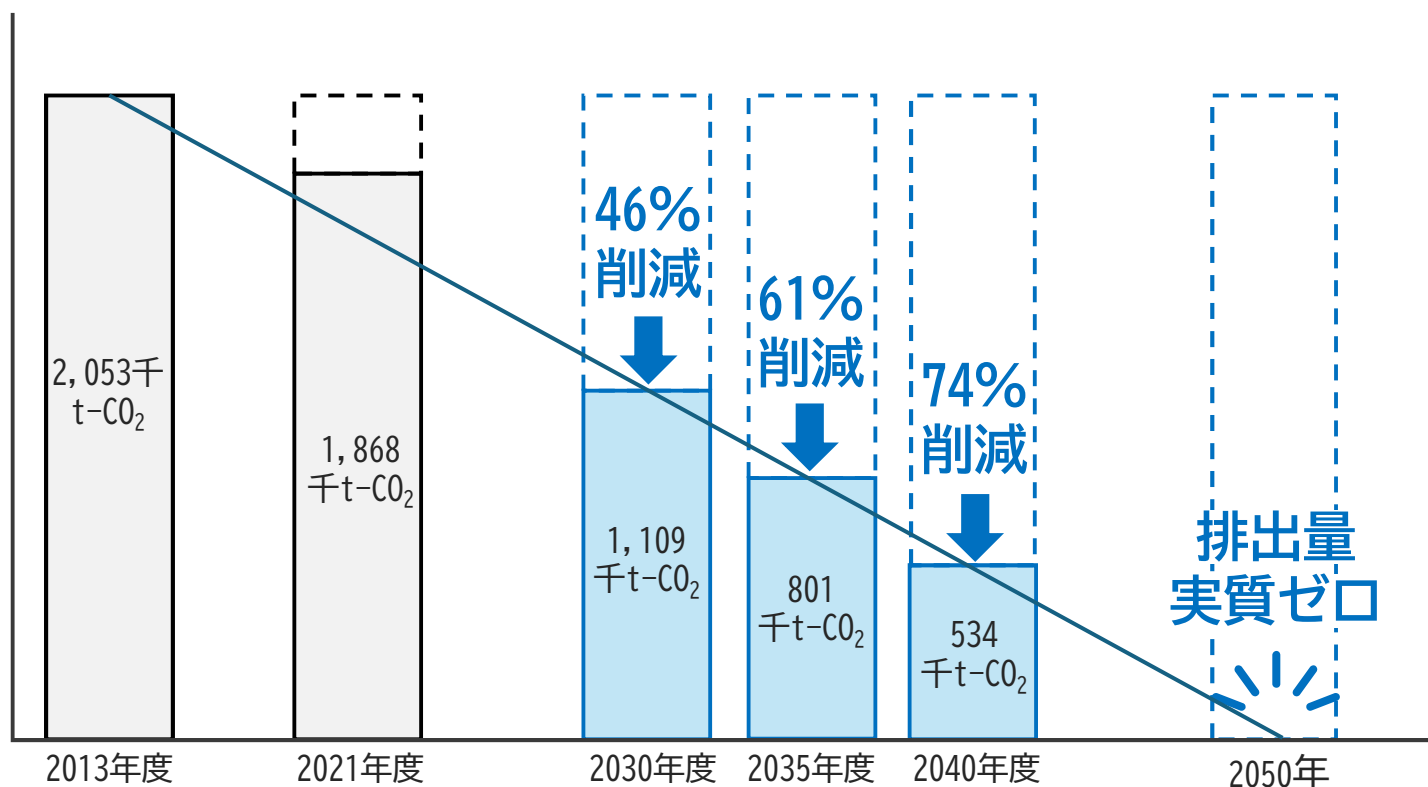
(2021年度)

(2030年度)

温室効果ガス排出量の削減目標（P.17～）

つくば市の削減目標を達成するには、2030年度までに約760千t-CO₂の削減が必要です。
これは、約30万世帯の家庭が1年間に排出するCO₂排出量に相当します。

2050年ゼロカーボンの達成に向けては市民や事業者の理解と協力が不可欠となります。



本編についてはホームページをご覧ください。

第4次つくば市地球温暖化対策実行計画区域施策編

検索



世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市 生活環境部 環境政策課
〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL：029-883-1111